

はじめに

んさい わるかや一。ちまむぬい あたら き一、いちばぎんぬぐし ひるんでい、ぎはい とうらしわい、ふがらっさ。(皆さん、お元気ですか。島のことばを大切にし、いつまでも残していこうと頑張ってください、ありがとうございます。)

どうなんむぬいは、私たち与那国の人々の心と文化を育ててきた母なる言葉です。その大切などうなんむぬいが今、「消滅の危機」に直面しています。ユネスコ(国際連合教育科学文化機関)は、その中でも私たちのどうなんむぬいが“消滅の重大な危機”にある、としています。この危機を乗り越えるためには、私たちがどうなんむぬいをしっかり学び、生活のいろいろな場面で使っていくことが必要です。どうなんむぬいを未来に残していく大きな仕事ができるのは私たちだけです。私たちがどうなんむぬいに親しみ、話していくことだけが、この宝物を守り、未来につなぐことが出来るのです。私たちの一人一人がその主役です。

この「単語帳」は、小学校の低学年で学ぶレベルのことばを中心に集めました。また、『しまくとぅば読本』(小学生用)も参考にしています。共通語からどうなんむぬいを調べることができるようにもしてあります。「どうなんむぬい検定」の9級の準備のためにも使えるように作りました。多くのみなさんがこの「単語帳」を手がかりに、どうなんむぬいに親しんで下さいますようお願いいたします。

2021年11月1日

沖縄県しまくとぅば普及センター
センター長 波照間 永吉

よ な ぐに ちようきよう いく ちよう 与那国町教育長あいさつ

「しまくとうば単語帳」に仲間入り！

この度、沖縄県しまくとうば普及センターから「どうなんむぬい単語帳 初級」が発刊されることになり、とてもとても喜んでおります。多くの皆さんが「どうなんむぬい検定」に挑戦してほしいと思います。失われつつある「どうなんむぬい」を普段の暮らしの中でも使って、その豊かな言葉を受け継いで欲しいと思います。

「ばんたや うやぐどー かやんばねー」

これは、「どうなんむぬい」の童謡ですが、内容は次の通りです。

茅やススキがたくさん生えている野原を踏み分けて草刈りに行く子どもたち。毎日与えられた手伝いで、牛、馬、山羊などの草刈りに行くのであった。履き物は履かず裸足であった。

「かやんばねー」は茅の若い芽のことで、針のように鋭く尖っているので、裸足の足を刺してとても痛い。そこで子どもたちは「ばんたや」(僕たちは)「うやぐどー」(親戚同士だよ)、だから足を刺すのはやめて、と歌いながら茅やススキの生い茂った野原を踏み分けて踏み分けて草刈りに行ったのである。

「くゆていや ふーる ふるていや くゆ」

「お月様は子ども、子どもはお月様」という意味ですが、お月様の顔をじっと見ていると誰でも優しい心になりますね。同様に、

つづらな瞳ひとみをした愛嬌あいきょうたっぷりの子どもも、優しい心してくれます。

とても味のある童謡どうたうです。他にもたくさんの童謡どうたうがありますよ。この「どうなんむぬい単語帳」と「どうなんむぬい辞典じてん」も活用して生き返らせてみましょう。多くの皆様のご活用をお願いします。

2021年11月1日

与那国町教育委員会

教育長 田原 伊明

与那国島について

①与那国島について

与那国島は、沖縄県八重山郡に属する、日本最西端の島です。与那国島は、沖縄本島から南西へ約509km、石垣島からは約127km離れています。与那国町は、祖納、比川、久部良の三つの集落があります。祖納は町役場があり行政等の中心です。比川は与那国の始まりの地と言われています。久部良は漁業の中心地です。

②どうなんむぬいの特徴

琉球方言は北琉球方言と南琉球方言に分かれています。与那国方言は、南琉球方言の一つです。与那国方言は「どうなんむぬい」と言います。与那国島には三つの集落がありますが、これらの方言に差はほとんどなく、これら三つの集落で話されている言葉のことを「どうなんむぬい」と言います。

一つの方言の特徴は、語い・文法・音声(音韻)の観点から決めなければなりません。語い・文法の研究は特に進んでいないので、ここでは、音声(音韻)の観点に絞って、どうなんむぬいの特徴について述べます。

どうなんむぬいの音声(音韻)的な主な特徴は、(1)基本的に母音「あ」「い」「う」の三つであること、(2)カ行とタ行には「かたい音」と「やわらかい音(ふつうの音)」の区別があること〔例：かいぶん(買って いる) / ‘かいぶん(使って いる)。た一

(^た田)/ ‘^{した}たー(舌).]、(3)「^がが」と「^かか°(はなごえ音)」の区別がある
こと [例：あ^ががい(明かり)/あ^か°い(東).]、(4)や行が^ダダ行の音に
なる場合があること [例：だ^{ば あい}ま(山). どう(湯).]、(5)長^{ちようたん}短の区別
がないことです。

[執筆：目差 尚太]

どうなんむぬい

この単語帳の見方

1. この本のなりたち

この本は「どうなんむぬい五十音引き」と「共通語引き」の2部から成っています。

2. 「どうなんむぬい五十音引き」について

- ① どうなんむぬいを五十音順に並べています。
- ② 2つ以上の言葉を「/」で並べて書いてある見出しの言葉は、その地域で2通り以上の言い方がある言葉です。
- ③ 言葉の前または後ろにある「～」は、言葉がつづくことを表しています。
- ④ 2つ以上の言葉がくっついてできた言葉の成り立ちを示すために、その語を形作る単語の間を少し空けました。注意して見てください。
- ⑤ 単語の中でも()の中に長音記号の「ー」やつまる音の「っ」などが入っているものは、「ー」や「っ」などがある読み方とない読み方の2通りあることを表しています。
[例：あら(ー)ぐ＝あらぐ/あらーぐ. あ(っ)た＝あた/あった.]
- ⑥ 言葉と言葉の関係を表したり、意味を付け加えたりする言葉(助詞)には、〈 〉の中にその言葉の役割と、文の中で使われている形を示しています。

3. 「共通語引き」について

- 1 共通語を五十音順に並べ、その言葉にあたるどうなんむぬいを示しています。
- 2 言葉の前または後ろにある「～」は、言葉がつづくことを表しています。

4. 特別な発音を表すひらがなについて

どうなんむぬいの中には、わたしたちが普段使いなれていない発音があります。

1 「か°」「き°」「く°」について

「か°」「き°」「く°」は、どうなんむぬいを話す島の人たちが強く意識している音です。「か°」「き°」「く°」は、鼻の奥に強くひびくような音なので、はなごえ音と呼ぶことにします。

[例：あか°い(東). ‘つぁき°(白髪). かいく°(卵).]

2 「ゝ」(ちゃん)について

「か」「た」の左上に小さい「ゝ」がついている「かゝ」「たゝ」という音があります。この音は、「っ」のような「つまる音」のある単語の発音と似ています。「ゝ」がついている単語の発音は、「つまる音」の発音よりも短く発音します。「ゝ」がついている単語の発音は、何もつかない音よりもノドに力を入れて固まった形で言うので、「かたい音」と呼びます。音声(音韻)研究では、この音のことを「喉頭化音」と呼んでいます。

[例：‘かい ぶん(使って いる). ‘たー(舌).]

3 「いえ」について

「いえ」は、下に線を引いて示してあるように、聞きなれたもので言うと、英語の「Yeah(日本語：イエーイ)」や「Yes(イエス)」に近い音を書き表しています。「いえ」は、どうなんむぬいでは、「まんいえー(おいしいね)」と言う、話し相手に同意を求めるたずね文の言い終わりに現れることが多いです。「いえ」は、「い」のあとに「え」をつづけて言うのですが、「いえ(家)」とはちがう言い方になります。「いえ(家)」の場合は、「い」をはっきり言いますが、「いえ」のばあいは、「い」を軽く、短く出して、すぐに「え」をつづけて言います。

[例：まー ひるんいえー(もう 行こうね). まんいえー(おいしいね).]

4 「どわ」について

与那国には、数は少ないですが、「どわ」という音があります。「どわ」を言うのにも、いくつかの手順を意識しなければいけません。沖縄で有名な言葉に「ぬちどう宝(命こそ宝だ)」という言葉があります。「どわ」は、この「ぬちどう宝」の「どう」を使って言います。まず、「どう」のすぐあとに、軽く、短く「あ」をつづけて言います。「どう」のすぐあとに「あ」をつづけて言って出る音が、「どわ」という音になります。

[例：どわい(お祝い). どわん(弱い). どわん(暗い).]

5 「(一)」「(っ)」の有無について

[例：だ(一)=だ/だー. あ(っ)た=あた/あった.]

5. 〈 〉について

〈 〉は、言葉の^{ことば}意味^{いみ}の説明^{せつめい}です。

6. 共通語の欄^{らん}の①、②、③について

どんなんむぬい^{いみ}の意味^{いみ}がたくさんある単語^{たんご}には、①、②、③と、意味^{いみ}のちがいをそれぞれ示^{しめ}しました。

7. この「単語帳」^{たんごちやう}を作るために調べた主な辞典^{しけん}

- ・与那国町教育委員会『どんなんむぬい辞典』(2019年 南山舎)。
- ・池間苗『与那国ことば辞典』(1998年 私家本)。
- ・国立国語研究所編『沖縄語辞典』(1963年 旧大蔵省印刷局)。
- ・新村出編『広辞苑 第七版』(2018年 岩波書店)。
- ・金田一京助編『例解学習国語辞典 第十版』(2017年 小学館)。

どなんむめい

こじゅうおんぴ
五十音引き

どっなんむめい

こ じゅうおん び 五十音引き もくじ

あ p.14

い p.17

う p.20

え p.23

お p.23

か p.23

き p.26

く p.27

こ p.29

さ p.29

し p.30

す p.31

た p.32

ち p.34

つ p.36

て p.36



と p.37

な p.41

に p.42

ぬ p.43

は p.44

ひ p.47

ふ p.48

ま p.50

み p.52

む p.53

も p.54

や p.54

ゆ p.55

よ p.55

わ p.55

ん p.55

あ

あいぐん ▶ ①^{ある}歩く。②^{はし}走る。

あいたらし ▶ かけっこ

あいたらし きるん ▶ ^{はし}走る

あいていらし ▶ かけっこ

あか(一) ▶ ^{いた}痛っ <どこか痛めた時に言う言葉> ^{ことば}

あが ▶ 赤

あが ▶ わたしの

あがい ▶ ^{ひがし}東

あかが ▶ 赤ちゃん

あがみ ▶ 子。子ども。

あがみてい ▶ 子。子ども。

あがや ▶ ^{に まい がい}二枚貝

あがやぬ くる ▶ 貝がら

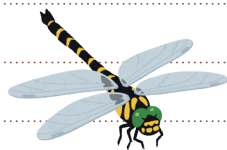
あかやゆー ▶ 痛っ <どこか痛めた時に言う言葉>

あがん ▶ ^{あか}明るい

あがん ▶ 赤い

あがんたい ▶ 赤い

あぎだん ▶ トンボ



あぎるん ▶ ①^あ開ける。②^{ひら}開く。

あぎるん ▶ ^あ上げる

あく^{な か ま} ▶ 仲間

あく ▶ あご

あさ ▶ おじいさん

あさたてい ▶ ^{あさ}浅い

あさ(っ)てい ▶ ^{あ さ っ て}明後日

あさん ▶ 浅い

あし^{あせ} ▶ 汗

あ(っ)た ▶ ^{あ し た}明日

あたいぶん ▶ 正しい

あたびた ▶ カエル

あたるん ▶ ^あ当たる

あちまるん ▶ ^{あ ち}集まる

あちみるん ▶ 集める

あっつある(ゆ)んがら ▶ ^{あ っ}暑いから

あっつあん ▶ 暑い

あてい ▶ ^{あ ね}姉

あでい ▶ ^{あ じ}味

あているん ▶ ^{く ら}比べる



あと ▶ ①あと。②今^{こん}度^ど。次^{つぎ}。

あなんぶ ▶ 穴^{あな}

あぬ ▶ わたし。ぼく。

あびゃん ▶ 美^{うつく}しい

あびら ▶ アヒル

あびるん ▶ 呼^よぶ

あぶ ▶ おばあさん

あぶた ▶ お母さん

あぶたてい ▶ おばさん 〈父母^しの姉妹^{まい}〉

あまだ ▶ さとうきび

あまってい ▶ 少^{すこ}し。ちょっ^{あいだ}と 〈時間的^{じかんてき}に〉。ちょっ^{あいだ}との間。

あま(一)てい ▶ 少^{すこ}し。ちょっ^{あいだ}と 〈時間^{じかん}的に〉。ちょっ^{あいだ}との間。

あまん ▶ 甘^{あま}い

あみ ▶ 雨

あみてい ▶ 道^{みち}

あみぬまゆ ▶ 虹^{にじ}

あみぬみや ▶ 虹^{にじ}

あや ▶ アリ

あやゆ一 ▶ 痛^{いた}っ 〈どこか痛めた時^{とき}に言^いう言^{こと}葉^ば〉

あら〜 ▶ 新^{あた}しい〜 〈言^{こと}葉^ばの前^{まえ}につい^いて、意^い味^みを付^つけ加^くえる言^{こと}葉^ば〉



あら(一)ぐ▶とても

あらぬん▶違^{ちが}う

あるん▶洗^{あら}う

あん▶ある

あんだ▶油^{あぶら}

あんぶん▶遊^{あそ}ぶ



い(一)▶絵^え

い(一)▶食^{しょく}事^じ。飯^{めし}。

いー～▶良^いい～ 〈言^{こと}ばのまへについて、意^い味^みを付^つけ加^くえる言^{こと}ば〉

例：いー すかてい／良^いい正月

いーちん▶い^いつも

いーっ▶あ^あっ 〈おどろいた時^{とき}に言^いう言^{こと}ば〉

いーどうち▶良^いい友^{とも}だち

いえ(一)▶～ね 〈文^{ぶん}のおわりにつく言^{こと}ば。同^{どう}意^いを伝^{つた}えたり、求^{もと}めた

りする〉例：くぬ すば あら(一)ぐ まんいえ／このそばとってもお

いしいね

いぐち▶い^いくつ

いくっつあかっつあ▶わ^わい^いわ^い

いくっつあひやつあ ▶ わいわい

いぐら ▶ いくら

いぐらてい ▶ いくら

いし ▶ そう

いしいえ(一) ▶ そうだね

いしつん ▶ できる

いしてい ▶ そして

いたんていん ▶ しても

いち ▶ 石

いち ▶ いつ

いちか ▶ いつか

いちにん ▶ 一年

いちにんしー ▶ 一年生

いちぶぐ ▶ 石

いちむち ▶ 動物

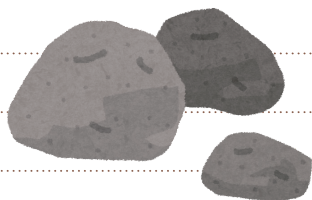
いっちん ▶ いつも

いてい ▶ それで

い(っ)てい ▶ 息

いでい ▶ 意地。勇氣。

いていぐ ▶ いとこ



いていていくたよー▶行ってきます

いていにん▶一年

いていにんしー▶一年生

いていむち▶動物

いでいんでいるん▶頑張る

いとう▶糸

いぬ▶犬

いばさん▶狭い

いび▶少し。ちょっと〈量的に〉。

いび(一)たてい▶少し

い(一) ふん▶食事する

いみ▶夢

いや▶お父さん

いやてい▶おじさん〈父母の兄弟〉

いゆ▶魚

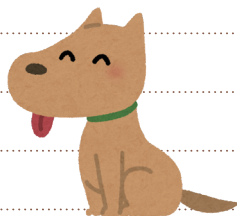
いゆん▶叱る

いらな▶鎌〈草を刈るための道具〉

いらぶん▶選ぶ

いらら▶鎌〈草を刈るための道具〉

いり▶西



いりるん ▶ 入れる^い

いる ▶ 色^{いろ}

いるん ▶ する

いる(ゆ)んがら ▶ するから。するので。

いん ▶ 犬^{いぬ}

いんさん ▶ 重い^{おも}

う

う(一) ▶ それ

ういぐん ▶ 動く^{うご}

うぎるん ▶ 起きる^{おき}

うぐん ▶ 泳ぐ^{およ}

うさい ▶ ごちそう

うさんぎ ▶ ウサギ

うた ▶ 歌^{うた}

うた きるん ▶ 歌う

うち ▶ 牛^{うし}

うてい ▶ 内^{うち}

うでい ▶ 腕^{うで}

う(っ)ているん ▶ 落ちる^お



うとう^{おと} ▶ 音

うとうかい ▶ あご

うとうだ^{きょうだい} ▶ 兄弟

うとうだな ▶ 兄弟

うとうとう ▶ ①弟。②年下。

うとうとうぶない^{いもうと} ▶ 妹

うどるぐん ▶ おどろく。びっくりする。

うとうん^お ▶ 落とす

うぬ ▶ その

うぶいるん^{おぼ} ▶ 覚える

うぶさん^お ▶ 多い

うぶとう^{おとな} ▶ 大人

うま ▶ そこ

うまかま ▶ あちこち。いろいろなところ。

うむい^{きもち} ▶ 気持ち

うむいんだん^{おも} ▶ 思い出す

うむつつあきるん^{たの} ▶ 楽しむ

うむつつあん ▶ おもしろい。楽しい。

うむてい^{かお} ▶ 顔

うむん^{おも} ▶ 思う

うや^{おや} ▶ 親

うやぎ^{かねも} ▶ 金持ち

うやぎんとう ▶ 金持ち

うやしわり^あ ▶ お召し上がりください

うやび^{うえ} ▶ 上

うやんとぅ ▶ ネズミ

うゆび^{ゆび} ▶ 指

うりるん^お ▶ 降りる

うるむ^{はる} ▶ 春

うるん^う ▶ 売る

うるん ▶ 降ろす

うん^{おに} ▶ 鬼

うんから ▶ そして。それから。

うんてい ▶ さつまいも

うんなが^{うみ} ▶ 海

うんにてい ▶ そして。それで。

うんにていん ▶ それでも

うんにぬ ▶ そんな。こんな。

うんにび ▶ そいうわけで。そうなので。



え

えい ▶ うん 〈おな どし め した へん じ
 同い年・目下への返事〉

お

おー ▶ はい 〈め うえ へん じ
 自上への返事〉

か

か(一) ▶ かわ

が ▶ ～が 〈どう さ おこな しゅ こ あらわ こと ば
 動作を行う主語を表す言葉〉 例： **んだか**° **ふん**／あなたが
 食べる

かー ▶ 川

かーばい ▶ よく

‘かいかた/‘かいがた ▶ ^{つか} ^{かた} 使い方

かいし くん ▶ ^{かえ} 帰る。帰って来る。

かいし ひるん ▶ 帰る。帰って行く。

がえ(一) ▶ ～ね 〈ぶん お こと ば かんじよう だ どう い
 文の終わりにつく言葉。感情を出しながら同意を
 伝えたり、求めたりする〉

かがん ▶ ^{かがみ} 鏡

かぎ ▶ かぎ

かぎらし▶かけっこ

かぎらん▶急ぐ^{いそ}

かぎるん▶掛ける^か

かぐでい▶あご

かぐりつあい▶かくれ鬼^{おに}〈かくれんぼと鬼ごっこを組み合わせた遊び〉^{く あ あそ}

かぐん▶書く^か

‘かし▶うそ

‘かしむぬ▶うそ

かた▶引幕^{ひきまく}

かたあがや▶一枚貝^{いちまいがい}

かたぎるん▶掛ける^か

かたち▶形^{かたち}

かたばら▶側^{そば}

かたぶるち▶肩^{かた}

かたん▶固い^{かた}

かたがつあ▶引幕^{ひきまく}

かだんく▶蚊^か

か(っ)ち▶おかし

かちみるん▶つかむ。つかまえる。

がっく▶学校^{がっこう}

‘**かっているん**’▶捨^すてる

かでい▶風^{かぜ}

かていかた▶書^かき方^{かた}

かとうん▶勝^かつ

かなでい▶かな文^も字^じ

かなん▶髪^{かみ}

かぬ▶あ^かの

かばるん▶違^{ちが}う

かび▶紙^{かみ}

かま▶あそこ

かまくま▶あちこち。いろいろなところ。

かまてい▶ほお

かゆん▶通^{かよ}う

がら▶～から〈場^ば所^{しよ}や時^じ間^{かん}を表^{あらわ}す言^{こと}葉^ばにつく〉例：東^{とう}京^{きやう}がら かいし
すん／東^{とう}京^{きやう}から帰^{かえ}って来^きた

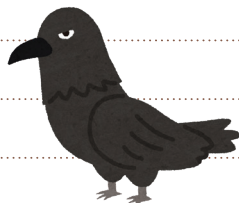
からぐん▶乾^{かわ}く

がらち▶カラス

からん▶髪^{かみ}

かり▶あ^しれ^じ〈指^し示^じ語^ご〉

かん▶上^{うへ}



‘か(一)ん ▶ ^{ふか}深い

かんが(い)るん ▶ ^{かんが}考える

かんでいむぬ ▶ ぼうし

がんどう ▶ ^{げんき}元気

かんどうん ▶ ^{かぶ}被る

かな ▶ ^{うで}腕

かなり ▶ ^{かみなり}雷



き

き(一) ▶ 木

き(一) ▶ ^け毛

きー ‘くん ▶ 気をつける

きだてい ▶ ^{ようす}様子

きたば ▶ したから。したので。

きたんていん ▶ しても

きばなさ ▶ ^{びんぼう}貧乏

ぎはるん ▶ ^{がんば}頑張る

きび ▶ したから。したので。

きぶんち ▶ ^{けむり}煙

きやぎるん ▶ ^け蹴る

きやる(ゆ)んがら▶したから。したので。

きやん▶(字を)消す

きるん▶する

‘きるん▶抜ける

きる(ゆ)んがら▶するから。するので。

ぎんとう▶^{ほんとう}本当

ぎんとうに▶^{ほんとう}本当に

ぎんみかんみきるん▶^{はな}^あ話し合う

く

く(一)▶これ

くい▶^{こゑ}声

くかに▶^{きん}金

くぐる▶^{こころ}心

くぐるむてい▶^{こころ}^{もち}心持ち

くし▶これで

くた▶～まで^{じかん}^{りょう}^{あらわ}^{めいし}〈時間や量を表す名詞にくっついて、おわりを表す〉

例：四時くた あんぶん／四時まで遊ぶ

くち▶①^{こし}腰。②^{うしろ}後ろ。

くちぶに▶^{せなか}背中

ぐったい ▶ 体格^{たいかく}

くでいん ▶ 小銭^{こぜに}

くとう ▶ 事^{こと}

くどう ▶ 去年^{きょねん}

くとうち ▶ 今年^{ことし}

くとうば ▶ 言葉^{ことば}

くぬ ▶ この

くぶ ▶ 蜘蛛^{くま}

くま ▶ ここ

くまかま ▶ あちこち。いろいろなところ。

ぐまたてい ▶ 小さい

ぐまん ▶ 小さい

ぐや ▶ ニガウリ

ぐやちゃんぷる ▶ ニガウリいため

ぐやまんぱに ▶ ニガウリいため

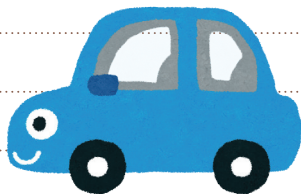
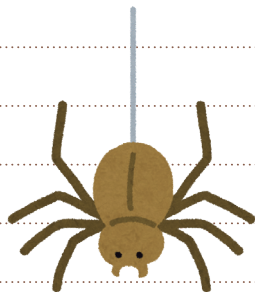
‘くゆ ▶ 月

くらしきるん ▶ 暮らす^く

くらびるん ▶ 比べる^{くら}

くる ▶ 殻^{から}

‘くる ▶ 袋^{ふくろ}



くるま^{くるま} ▶ 車。自動車^{じどうしゃ}。

‘くるん ▶ 作る^{つく}

くわ(一)ん^{かた} ▶ 固い

‘くわ(一)ん ▶ 低い^{ひく}

くわ(っ)ち ▶ おかし

くん ▶ 買う^{かう}

くん ▶ 来る^{くる}

‘くん ▶ 聞く

‘くん ▶ 使う^{つか}

くんどう ▶ 今度^{こんど}

くんどうぐりるん ▶ 怒る^{おこ}

くんどうんでいるん ▶ 怒る

くんにぬ ▶ こんな

こ

こくご ▶ 国語^{こくご}

さ

さ(一) ▶ 茶^{ちや}

さがん ▶ 少ない^{すく}

さぎるん ▶ 下^さげる

さぐん ▶ 咲^さく

さぐん ▶ 割^さく

さしん ▶ 写^{しゃ}真^{しん}

さた ▶ 砂^さ糖^{とう}

さぶん ▶ せ^せっけん

さまん ▶ (火^け)を消^けす

さんてい ▶ 三^{さん}線^{せん}



し

し ▶ ～で 〈材料^{ざいりょう}などを表^{あらわ}す言^{こと}葉^ばにつく〉 例：くばぬ はし かんδειむ
ぬ 'くるん/クバの葉^はでぼうしを作る

しかーとう ▶ ① しっかりと。はっきり。② ていねいに。

しがた ▶ 姿^{すがた}

しか(っ)とう ▶ ① しっかりと。はっきり。② ていねいに。

しかぬん ▶ 好^すかない。嫌^{きら}い。

しかま ▶ 仕^し事^{ごと}

しから ▶ 力^{ちから}

しかん ▶ 好^すかない。嫌^{きら}い。

しきん ▶ 世^せ間^{けん}

.....

したた▶すぐ

しっぱい▶たくさん

しばさん▶狭い^{せま}

しゃなん▶嬉しい

しんか▶仲間^{なかま}

しんし(一)▶先生^{せんせい}

す

す(一)▶今日^{きょう}

す(一)▶帳面^{ちょうめん}

すー▶天秤棒^{てんびんぼう}

すー▶便り。消息。

すー うがむん▶こんにちは〈公^{おおやけ}の場^ばでのあいさつ^{ばあい}の場合〉

すぐてい▶本

すさん▶強い^{つよ}

すするん▶拭く^ふ。拭う^{ぬぐ}。

すだ▶年上^{としうえ}

すだい▶体格^{たいかく}

すだん きるん▶話し合^{はなあ}う

すでい▶袖^{そで}

すなてい ▶ 兄 あに

すば ▶ 側 そば

すば ▶ そば た 食べ物

すばっつあ ▶ 周り まわり

すむてい ▶ 本

すや ▶ 〜なあ ぶん おわ 文の終わりにつく ことば 感情を表に出す時に使う

例：あら(一)ぐ まんすやー／とてもおいしいなあ

すらさん ▶ 清らかだ きよ

すりるん ▶ 集まる あつ

すんがるん ▶ 広がる ひろ

すんくん ▶ 引っぱる ひ

た

た(一) ▶ 田

た(一) ▶ 誰 だれ

‘た(一) ▶ 舌 した

‘た(一) ▶ ふた

だ(一) ▶ 家 いえ

だーとうし ▶ やっとで

たいしく ▶ たくさん



たが▶^{せい かく}性格

たがん▶^{た か}高い

たぎ▶^{た け}竹

だぐ▶^{む し}虫

たしかみるん▶^{た し}確かめる

だちむん▶^{やす}休む

だっとう▶やっと

たてい▶^{た て}縦

たているん▶^た立てる

たとうん▶立つ

だな〜▶^{わる}悪い〜 〈^{こと ば}言葉の^{まえ}前について、^{い み}意味を付け^つ加える言葉〉

‘たなが▶^{あいだ}間

たに▶^{た ね}種

だ(一)にんどう▶^{か ぞく}家族

たばらりる▶いただきます

たま▶玉

だま▶山

だまいる▶^{みどりいろ}緑色

たみ▶ため

‘たみるん▶①^{おし}教える。②^し知らせる。



だむん ▶ ①^{いた}痛む。②^{いた}痛い。

たゆり ▶ ^{てがみ}手紙

‘たら ▶ 下

だらーたてい ▶ やわらかい

だらていな ▶ ゆっくり

だらな ▶ ゆっくり

‘た(ー)ん ▶ ^{ちか}近い

だん ▶ ^{くら}暗い

たんか ▶ ^{ほうがく}方角

たんでい ▶ ^{ねが}お願いします

たんでいどうーでいん ▶ ^{ねが}お願いします

ち

ち(ー) ▶ ^す巣

ち(ー) ▶ ^ち血

ち(ー) ▶ 火

ち(ー) ▶ 日

ちーどう ▶ ^{まいにち}毎日

ちでい ▶ ①^{おか}丘。②^{ちようじよう}頂上。

ちなん ▶ ^{すな}砂



ちに▶すね

ちぬかーでい▶毎日まいにち

ちま▶①島しま。②ふるさと。③国くに。

ちまみ▶ヤモリ

ちまん▶終えるお

ちむ▶①心持ちこころも。②肝臓かんぞう。

ちむぐてい▶胸むね

ちむん▶積むつ

ちょーめん▶帳面ちようめん

ちら▶顔かお

ちらかたち▶顔つき

ちらかまち▶顔つき

ちらかまてい▶ほお

ちらびるん▶調べるしら。確たしかめる。

ちるち▶印しるし

ちるまん▶①不思議ふしぎ。②珍しいめずら。

ちん▶上うえ

ちんだい▶次つぎ

ちんぷる▶頂上ちようじよう

つ

つあ(一) ▶ 草

つあいつあい ▶ 鬼^{おに}ごっこ

つー ▶ 白

つー ▶ うんこ

つー むぬ ▶ 服^{ふく}

つだり ▶ 白い

つばいんてい ▶ つば

つばら ▶ あと。後^{うし}ろ。

つばんてい ▶ つば

つま ▶ 昼^{ひる}

つまどうぎ ▶ 昼ごはん

つん ▶ 着^きる

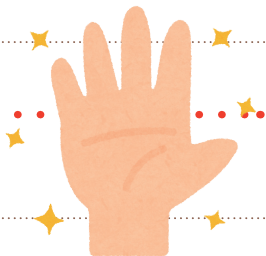
つん ▶ 切^きる

つん ▶ 知^しる

て

てい ▶ 手

‘てい ▶ 口



‘てい(一)▶月

でい▶字^じ

ていがみ▶手紙^{て がみ}

でいかん▶時間^{じ かん}

ていだん▶太陽^{たい よう}

‘ていっきるん▶引っぱる^ひ

でいていんしゃ▶自転車^{じてん しゃ}

でいなん▶①嫌い。②汚い。^{きら}

ていぬぐん▶引き抜く^{ひ ぬ}

ていはん▶手足

‘ていぶに▶口

でいぶん▶時

でいまみ▶ピーナッツ

ていん▶①天。^{てん}②空。^{そら}

でいん▶お金

でいん▶来年^{らい ねん}

てん▶点^{てん}



と

ど(一)▶～だよ。～よ。〈文の終わりにつく言葉。聞き手の目的〉^{ぶん お ことば きき て めく て き}

にとって意味のある内容であると伝える言葉 例：うや あら(一)ぐ
まる むぬど(一)／それはとてもおいしいものだよ

とう ▶ ～と 〈人や物を二つ以上並べる時に使う言葉〉 例：太郎とう
一郎とう あんぶん／太郎と一郎と遊ぶ

‘とう(一)▶人

どう(一)▶①体。②自分。

どう(一)▶お湯

どうい▶柄 〈道具の手に持つ所〉

どうい▶夕ご飯

どういかっているん▶除く

‘どういな(一)どういな▶ひとりひとり

とうーん むなぬんき▶そっと

とうがら▶へビ

とうき▶時計

どうぐ▶横

どうぐてい▶門

どうぐる▶所

どうぐるん▶休む

どうさびぬ いー▶夕ご飯

どうだ▶枝

とうち^{とし} ▶ 年

‘とうち ▶ ①ひとつ。②同じ。

どうち^{とも} ▶ 友だち

とうてい ▶ 時

どうでい^{じょうず} ▶ 上手

どうでいどう あたば ▶ 上手だったので

どうでいどう あたる(ゆ)んがら ▶ 上手だったので

どうでいどう あたん ▶ 上手だった

どうでいどう ある ▶ 上手だ

とうない^{となり} ▶ 隣

どうなが^{よなか} ▶ 夜中

どうぬ^{おな} ▶ 同じ

どうばだ^{からだ} ▶ 体

とうびや ▶ うそ

とうぶん^と ▶ 飛ぶ

‘とうまる^{まわ} ▶ 周り

とうまるん^と ▶ 止まる

どうみ^{よめ} ▶ 嫁

どうみあし きるん ▶ 読み^よ合^あわす

どうみあん ▶ 読み合^あわす

どうみかた/どうみがた ▶ 読み方^{よみかた}

‘どうむてい ▶ 朝^{あさ}

‘どうむていぬ いー ▶ 朝ごはん

どうむん ▶ ①読む。②数える^{かぞ}。

どうむんぶ ▶ モモ 〈くだもの〉

どうゆ ▶ 糸^{いと}

どうらん ▶ くれる

どうり(ー)どうり(ー) ▶ ゆっくり

どうる ▶ 夜^{よる}

どうるん ▶ ①取る^と。②拾う^{ひろ}。③もらう。

どうるん ▶ 集まる^{あつ}

どうん ▶ 妻^{つま}

どうんだん ▶ 出す^だ

どうんでいるん ▶ 出かける^で

どうんならん ▶ どうかす

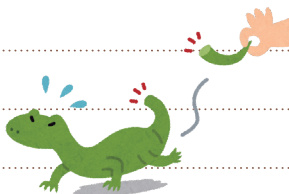
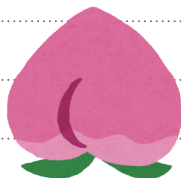
どうんに ▶ 本^{ほん}当^{とう}に

どうんぱに ▶ しっぽ

とわ(ー)ん ▶ 遠^{とろ}い

どわん ▶ 暗^{くら}い

どわ(ー)ん ▶ 弱^{よわ}い



な

な(一) ▶ ^{な まえ}名前。名。

なーさん ▶ ^{なが}長い

なーなー ▶ それぞれ

なーりるん ▶ ^{なが}流れる

ない ▶ ^{じ しん}地震

ない ▶ 実

ない ▶ ^{いま}今

ないがら ▶ これから

ないぶる ▶ ～です ^{なに}何かを ^{しょうかい}紹介するときの ^い言い ^お終わりの ^{かたち}形 例：あ

ぬや 太郎どう ^{わたし}ないぶる / ^{たろう}私は太郎です

なが ▶ ^{なか}中。 ^{うち}内。

ながりるん ▶ ^{なが}流れる

なぎ ▶ ^{たて}縦

なぐん ▶ ① ^{どうぶつ}(動物が)鳴く。 ② ^{ひと}(人が)泣く。

なち ▶ ^{なつ}夏

なび ▶ ^{なべ}鍋

ならん ▶ ^{おし}教える

なるん ▶ ① (ある ^{じょうたい}状態に)なる。 ②できる。



なん▶^{な す}茄子

なん▶^う産む

な(一)ん▶^{なが}長い

なんだぐち▶^{もの ほし}物干し竿

に

に▶^ね根

に▶〜で〈場所などを表す言葉につく〉例：公園に あんび ぶん／公園で遊んでいる

に▶〜に〈時間を表す言葉につく〉例：九時に ひるん／九時に行く

に▶①〜に。〜へ〈場所を表す言葉につく〉例：東京に ひゅん／東京に行っている。②〜に〈受身文の動作の主体を表す言葉〉例：しんしに ふみりたん／先生にほめられた。

にぐらるた▶とても

にぐらん▶おそろしい。こわい。

にち▶^{きた}北

にちかでい▶^{きた かぜ}北風

にでい▶^{みぎ}右

にばり▶^ね根っこ

にむとう▶根っこ

にるん ▶ 煮る

にんどうん ▶ 寝る



ぬ

ぬ ▶ 〜の 〈人や時・場所を表す名詞にくっついて、持ち主やありかの指定を表す〉 例：太郎ぬ だー／太郎の家。すぬ どうい／今日の晩ごはん。みしやぬ まいばら／お店の前。

ぬ(一) ▶ 野原

ぬ(一) ▶ ①何。②どれ。

ぬぎるん ▶ 抜ける

ぬ(一) きるんが ▶ どうするか

ぬぐし ▶ どのように

ぬぐしてい ▶ どうやって

ぬだ ▶ 涙

ぬっつあん ▶ 温かい

ぬてい ▶ 命

ぬどう ▶ のど

ぬばん ▶ 伸ばす

ぬび ▶ 首

ぬむん ▶ 飲む

ぬるん ▶ ^{のぼ}登る

ぬるん ▶ ^の乗る

ぬんでい ▶ どうして。なぜ。

ぬんに ▶ どのように

ぬんに あたんでいん ▶ どうであっても

ぬんに あるばん ▶ どうであっても

ぬんに いしていん ▶ どうにかしてでも

ぬんに いるんが ▶ どうするか

ぬんにてい ▶ どうやって

ぬんにていん ▶ どうしても

ぬんにぬ ▶ どんな

は

は ▶ ^{ほうこう}方向 〈～の方向〉 例：とらぬ は ^{とら}寅の方向

は(一) ▶ ^は歯

は(一) ▶ ^は葉

はい ▶ ^{はり}針

はい ▶ ^{みなみ}南

はいむぬ ▶ ^た食 ^{もの}べ物

はいるん ▶ ^{はい}入る

ぱがい▶くわ た はた たがや どう ぐ な まえ
〈田畑を耕す道具の名前〉

はがら▶①しっかりと。はっきり。②ていねいに。

ばがりるん▶わか別れる

ばがるん▶わ分かる。し知る。

ばぎ▶わけ

ばぎるん▶わ分ける

ばぎん▶～まで じ かん りょう あらわ めい し
〈時間や量を表す名詞にくっついて、お終わりを表す〉例：四時ばぎん あんぶん／四時まで遊ぶ

ばぎん▶～も い
〈んだばぎん ひるなー？／あなたも行くか？〉

はさん▶はさみ

はた▶ハチ

ばた▶なかお腹

はたぎ▶はたけ畑

はたぎるん▶ひら開く

はち▶おはし

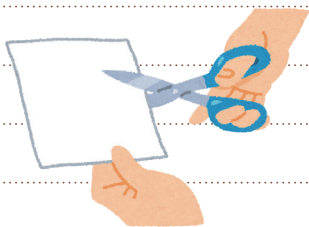
ば(っ)ちるん▶わす忘れる

はでいまい▶はじ始め

はでいまるん▶はじ始まる

はでいみてい▶はじ初めて

はでいみるん▶はじ始める



はとう ▶ ①鳩^{はと}。 ②鳥^{とり}。

はな ▶ 花

はな ▶ 鼻^{はな}

はなし ▶ 話^{はなし}

はなし きるん ▶ 話す^{はな}

はなぶる ▶ 鼻^{はな}

ばぬ ▶ わたしたち

はびる ▶ チョウ^が。蛾。

はぶとうがら ▶ ハブ

はまい ▶ 食べ物^{た もの}

はやん ▶ 早い

はゆん ▶ 入る^{はい}

ばらさん ▶ 悪い^{わる}

はる ▶ 畑^{はたけ}

ばるん ▶ 笑う^{わら}

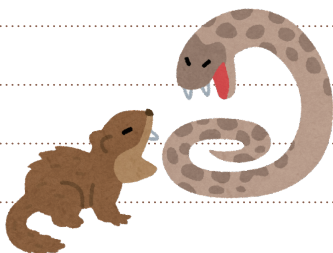
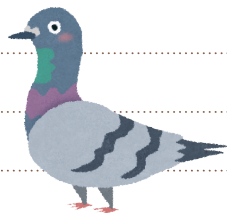
はん ▶ 足

はん ▶ 印^{しるし}

ばんた ▶ わたしたち

はんでいるん ▶ 脱ぐ^ぬ

はんぬ うゆび ▶ 足の指^{ゆび}



ひ

ひ(一) ▶ おなら

びぎむぬ ▶ 雄おす

ひくん ▶ 引くひ

ひぐん ▶ 灰はい

ひさん ▶ 寒いさむ

ひ(っ)ちんたい ▶ 冷たいつめ

びっかるん ▶ 付くつ

びっきるん ▶ 付ける

ひ(っ)とう ▶ イルカ

ひびだ ▶ ヤギ

ひら ▶ へう どうぐ 名前 〈道具の名前〉

ひらぎるん ▶ ①開くひら。②広げるひろ。

ひらぎんたい ▶ 冷たいつめ

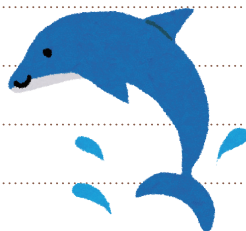
ひり ▶ 朝ごはんあさ

ひるがるん ▶ 広がるひろ

ひるさん ▶ 広い

ひるん ▶ 行くい

びるん ▶ 植えるう



びんが ▶ ^{おとこ}男

びんがあがみ ▶ 男の子

ひんす ▶ ^{びんぼう}貧乏

ひんだぎ ▶ ^い行きましょう

ひんだんぎ ▶ 行きましょう

ひんとうきるん ▶ ^{こた}答える

ふ

ぶいは ▶ ^{おい}①甥。 ^{めい}②姪。

ぷーか ▶ ふうせん

ふーせん ▶ ふうせん

ぶーる ▶ みんな

ふが ▶ ^{そと}①外。 ^{ほか}②他。

ふがらさ ▶ ありがとう

ふぐん ▶ ^は掃く

ふぐんいる ▶ ^{きいろ}黄色

ふぐんどうみいる ▶ 黄色

ふす ▶ おへそ

ふち ▶ ^{ほし}星

ぷっか ▶ ふうせん

ふった ▶ 包丁 ^{ほうちょう}

ふてい ▶ 稲光 ^{いなびかり}

ふてい ▶ ほうき

ぶとう ▶ 夫 ^{おっと}

ぶない ▶ 姉妹 ^{しまい} 〈男側から呼ぶ場合〉 ^{おとこがわ よ ばい}

ふに ▶ 骨 ^{ほね}

ふゆ ▶ 冬 ^{ふゆ}

ふりまい ▶ ごちそう

ふる ▶ 古い ^{ふる}

ふるいる ▶ 黒色 ^{くろいろ}

ふるちちぬ〜 ▶ 黒い〜

ふるちちんたい ぶん ▶ 黒い

ふるみ ▶ 古い ^{ふる}

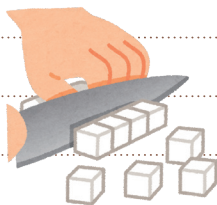
ふるや ▶ トイレ

ふるん ▶ 降る ^ふ

ふるん ▶ 掘る ^ほ

ふん ▶ 食べる ^た

ぶん ▶ いる



ま

ま(一) ▶ もう

まーしく ▶ たくさん

まーてい ▶ とても

まーどうあたる ▶ ごちそうさまでした

まーまんか ▶ まっすぐ

まー みぬん ▶ おいしくない

まーむに ▶ 本当。本当に。

まい ▶ ①稲。②米。

まい ▶ 前

まいさ ▶ 大きさ

まいさる ▶ 大きい～

まいさん ▶ 大きい

まいすん ▶ (人が)亡くなった

まいるん ▶ (人が)亡くなる

まぎるん ▶ 負ける

まぐ ▶ 孫

まぐん ▶ 巻く

ます ▶ 塩



また▶また

ま(っ)ち▶^す好き。^い良い。

ま(っ)ちやる くとう▶^い良いこと

まっとう▶^{ただ}正しい

まっとうに▶^ま正しく

ま(一)でい▶まだ

まとうみるん▶まとめる

まとうん▶^ま待つ

まどうん▶^{いっしょ}一緒に

ま(一)びん▶もっと

まぶるん▶^{まも}守る

ま(一)みん▶もっと

まゆ▶ネコ

まらん▶^{みじか}短い

まり▶^{すがた}姿

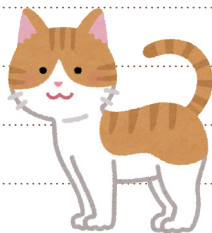
まり▶^う生まれ

まりかたち▶^{かお}顔つき

まりでいま▶ふるさと

まりるん▶生まれる

まる▶^{まる}丸



ま(一)るむぬ ▶ ごちそう

まるんか ▶ ①丸い。②円。^{えん}③小銭。^{こぜに}

ま(一)ん ▶ おいしい

まんか ▶ ①^{ただ}正しい。②まっすぐ。

まんかに ▶ 正しく

まんなが ▶ ^ま真ん中^{なか}

み

みー ▶ 目

みー〜 ▶ ^{あた}新しい〜 〈言葉の前^{ことば}について、意味^いを付け加える言葉^みつぐわ

みー つあい わるん ▶ (人が)^な亡くなる

みー つあい わん ▶ (人が)亡くなった

みーむぬ ▶ ^{めす}雌

み(っ)きるん ▶ ^{さが}探す。見つける。

みくきるん ▶ 気をつける

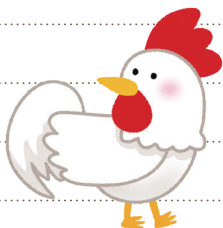
みさん ▶ ^{まず}不味い

み(っ)た ▶ ニワトリ

みだがきるん ▶ ^{くら}比べる

みでいらさん ▶ ^{めずら}珍しい

みでいる ▶ ①^{あお}青。②青い。



みとう ▶ ①川。②池。沼。湖。

みぬが ▶ 女

みぬがあがみ ▶ 女の子

みぬがうとうだな ▶ 姉妹

みぬまゆ ▶ 眉

みぬん ▶ ない

みゃーる〜 ▶ 遠い〜

みん ▶ 水

みんたふ ▶ 耳

みんぶる ▶ 頭

む

むいるん ▶ 生える

むーる ▶ みんな

むぐ ▶ 婿

むたくん ▶ 叱る

むち ▶ 虫

むちかさん ▶ 難しい

むどうるん ▶ 帰る

むとうん ▶ 持つ

むね▶①^{もの}物。②^{もの}者。

むねい▶^{ことば}言葉

むねはなし きるん▶^{はな}話し^あ合う

むねん▶話す

むむ▶もも 〈体のいちぶ〉

むら▶①^{むら}村。②^{まち}町。

むりく▶①森。②林。

むりくい▶①森。②林。

むんどうきるん▶けんかする

むんぬく▶山モモ

も

もも▶モモ 〈くだもの〉

や

や▶～は 〈^{ひと}人や^{もの}物を表す名詞にくっついて、^{とくちょう}特徴の^も持ち主を表したり、^{たいひ}対比を表す〉例：ペンギンや ^ははとうどう ^{ある}ある／ペンギンは^{とり}鳥だ。

すや ぬーき あんぶんか？／^{きょう}今日は^{なに}何して^{あそ}遊ぶ？

ゆ

ゆ ▶ ～よ 〈文^{ぶん}の終^おわりにつく言^{こと}ば^ば〉

ゆき ▶ 雪^{ゆき}



よ

よい ▶ うん 〈同^{おな}い年^{とし}・目^め下^{した}へ^{へん}の返^じ事^し〉

わ

わ(一) ▶ ブタ

わしき ▶ 天^{てん}気^き

わっさ ▶ がやがや

わっさいわっさい ▶ がやがや

わ(一)り ▶ いらっしゃい

ん

ん ▶ うん 〈同^{おな}い年^{とし}・目^め下^{した}へ^{へん}の返^じ事^し〉

ん ▶ ～も 例：ん^だん ひるな^ー? / あなたも行^いくか?

んかち ▶ 昔^{むかし}

んかちはなし ▶ 昔^{むかし}話^{はなし}

んかちむぬがた▶昔話

んき▶①～に。～へ。〈場所を表す言葉につく〉例：東京んき
ひゅん／東京に行っている。だまんき ひるん／山へ行く。②～
に〈受身文の動作の主体を表す言葉〉例：しんしんき ふみらりた
ん／先生にほめられた。

んぎ▶とげ

んくてい▶赤ちゃん

んさいわるな▶こんにちはく「お元氣ですか？」の意味が転じて

んさるどうち▶良い友だち

んさん▶良い。よろしい。

んす▶味噌

んた▶土

んだ▶あなた。おまえ。君。

んだ▶巻貝

んだい▶左

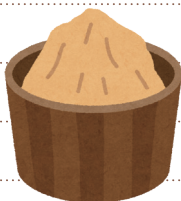
んだみ▶カタツムリ

んだん▶出す

んでい▶あなたたち。おまえたち。

んでい▶どれ

んでい▶～に〈動作の目的を表す言葉〉例：あんびんでい ひたん／



あそび^いに行^いった

んていなてい ▶ 一^{おととし}昨年

んでいるん ▶ 出^でる

んていんた ▶ あなたたち。おまえたち。

んとうる むぬ ▶ いす

んとうるん ▶ 座^{すわ}る

んどうん ▶ 言^いう

んなが ▶ 真^まん 中

んなに ▶ 服^{ふく}。着^き物^{もの}。

んなりるん ▶ 見^みえる

んに ▶ 米^{こめ}

んに ▶ 船^{ふね}

んに ▶ 胸^{むね}

んにるん ▶ 似^にる

んにん ▶ みかん

んぬ ▶ 昨^{きのう}日

んぬん ▶ 角^{つの}

んぬん ▶ 見^みる

んば ▶ くちびる

んばい ▶ おしっこ



んび ▶ おしり

んぶ ▶ 巻貝まきがい

んぶぐ ▶ 釣り竿づお

んま ▶ 馬うま

んま ▶ どこ

んみ ▶ 爪つめ

んむ ▶ 雲くも

The background of the entire page is a stylized illustration of autumn leaves in various shades of orange, brown, and tan. The leaves are layered and overlapping, creating a sense of depth and texture. In the center, there is a white rectangular box with a thin orange border. Inside this box, the title is written in white Japanese text.

共通語

こ じゅうお ん び

五十音引き

共通語

こ じゅうおん び 五十音引き もくじ

あ p.62

い p.64

う p.66

え p.68

お p.68

か p.71

き p.73

く p.74

け p.75

こ p.76

さ p.77

し p.78

す p.79

せ p.80

そ p.81

た p.82

ち p.83

つ p.84

て p.85

と p.86

な p.87

に p.88



ぬ p.89

ね p.89

の p.90

は p.90

ひ p.92

ふ p.93

へ p.94

ほ p.94

ま p.95

み p.96

む p.97

め p.97

も p.98

や p.99

ゆ p.99

よ p.100

ら p.100

わ p.101

数字・数詞 p.101

あ

あいだ
間 ▶ たなが

あお
青 ▶ みでいる

青い ▶ みでいる

あか
赤 ▶ あが

赤い ▶ あがん。あがんたい。

赤ちゃん ▶ んくてい。あかが。

あか
明るい ▶ あがん

あ
開ける ▶ あぎるん

あ
上げる ▶ あぎるん

あご ▶ あぐ。かぐでい。うとうかい。

あさ
朝 ▶ ‘とうむてい

あさ
浅い ▶ あさん。あさたてい。

あさ
朝ごはん ▶ ‘とうむていぬ いー。ひり。

あさって
明後日 ▶ あさ(っ)てい

あし
足 ▶ はん

あじ
味 ▶ あでい

あした
明日 ▶ あ(っ)た

あし ゆび
足の指 ▶ はんぬ うゆび

あせ
汗▶あし

あそこ▶かま

あそ
遊ぶ▶あんぶん

温かい▶ぬつつあん

あたま
頭▶みんぶる

新しい〜〈ことば まえの言葉の前について、い み つ くわの意味を付け加える言葉〉▶あら〜。
みー〜。

あ
当たる▶あたるん

あちこち▶うまかま。くまかま。かまくま。

あっ〈おどろいた時に言うことば言葉〉▶いーっ

あつ
暑い▶あつつあん

暑いから▶あつつある(ゆ)んがら

あつ
集まる▶あちまるん。どうるん。すりるん。

集める▶あちみるん

あと▶つばら。あとう。

あな
穴▶あなんぶ

あなた▶んだ

あなたたち▶んでい。んでいんた。

あに
兄▶すなてい

あね
姉▶あてい

あの▶かぬ

アヒル▶あびら

あぶら
油▶あんだ

あま
甘い▶あまん

雨▶あみ

あら
洗う▶あるん

アリ▶あや

ありがとう▶ふがらさ

ある▶あん

ある
歩く▶あいぐん

あれ〈指示語〉▶かり



いい
良い▶んさん。ま(っ)ち。

良い〜〈言葉の前について、意味を付け加える言葉〉▶いー

良いこと▶ま(っ)ちやる くとう

い
良い友だち▶んさるどうち。いーどうち。

い
言う▶んどうん

いえ
家▶だ(ー)

いき
息▶い(っ)てい

行^いきましょう▶ひんだぎ。ひんだんぎ。

行^いく▶ひるん

いくつ▶いぐち

いくら▶いぐら。いぐらてい。

池^{いけ}▶みとう

石^{いし}▶いち。いちぶぐ。

意^い地^し▶いでい

いす▶んとうる むぬ

急^{いそ}ぐ▶かぎらん

痛^{いた}い▶だむん

いただきます▶たばらりる

痛^{いた}っ 〈どこか痛めた時^{とき}に言う言^い葉^ご〉▶あか(一)。あかやゆー。
あやゆー。

痛^{いた}む▶だむん

一年▶いちにん。いていにん。

一年生▶いちにんしー。いていにんしー。

一^{いち}枚^{まい}貝^{がい}▶かたあがや

いつ▶いち

いつか▶いちか

一^{いっしょ}緒^{しょ}に▶まどうん

行^いってきます ▶ いていていくたよー

いつも ▶ いっちゃん。いーちゃん。

糸^{いと} ▶ いとう。どうゆ。

いとこ ▶ いていぐ

稲^{いな}光^{ひかり} ▶ ふてい

犬^{いぬ} ▶ いぬ。いん。

稲^{いね} ▶ まい

命^{いのち} ▶ ぬてい

今^{いま} ▶ ない

妹^{いもうと} ▶ うとうとうぶない

いらっしやい ▶ わ(一)リ

いる ▶ ぶん

イルカ ▶ ひ(っ)とう

入^いれる ▶ いりるん

色^{いろ} ▶ いる

いろいろなところ ▶ うまかま。かまくま。くまかま。

う

上^{うえ} ▶ うやび。かん。ちん。

植^うえる ▶ びるん

うご
動く ▶ ういぐん

ウサギ ▶ うさんぎ

うし
牛 ▶ うち

うし
後ろ ▶ つばら。くち。

うそ ▶ ‘かし。‘かしむぬ。とうびや。

うた
歌 ▶ うた

うた
歌う ▶ うた きるん

うち
内 ▶ なが。うてい。

うつく
美しい ▶ あびやん

うで
腕 ▶ うでい。かんな。

うま
馬 ▶ んま

う
生まれ ▶ まり

生まれる ▶ まりるん

うみ
海 ▶ うんなが

う
産む ▶ なん

う
売る ▶ うるん

うれ
嬉しい ▶ しゃなん

うん ^{おな とし めした}〈同年・目下への返事〉 ^{へんじ} ▶ えい。よい。ん。

うんこ ▶ つ(一)

え

絵 ▶ い(一)

柄 ▶ どうぐ て も ところ 道具の手に持つ所 ▶ どうい

枝 ▶ どうだ

選ぶ ▶ いらぶん

円 ▶ まるんか

お

甥 ▶ ぶいは

おいしい ▶ ま(一)ん

おいしくない ▶ まー みぬん

多い ▶ うぶさん

大きい ▶ まいさん

大きい〜 ▶ まいさる

大きさ ▶ まいさ

丘 ▶ ちでい

お母さん ▶ あぶた

おかし ▶ か(っ)ち。くわ(っ)ち。

お金 ▶ でいん

お
起きる ▶ うぎるん

おこ
怒る ▶ くんどうぐりるん。くんどうんでいるん。

おじいさん ▶ あさ

おし
教える ▶ ‘たみるん。ならん。

おじさん 〈父母の兄弟〉 ▶ いやてい

おしっこ ▶ んばい

おしり ▶ んび

おす
雄 ▶ びぎむね

おそろしい ▶ にぐらん

お
落ちる ▶ う(っ)ているん

おっと
夫 ▶ ぶとう

おと
音 ▶ うとう

とう
お父さん ▶ いや

おとうと
弟 ▶ うとうとう

おとこ
男 ▶ びんが

男の子 ▶ びんがあがみ

お
落とす ▶ うとうん

おとし
一昨年 ▶ んていなてい

おとな
大人 ▶ うぶとう

おどろく ▶ うどうるぐん

お^{なか}腹 ▶ ばた

お^な同 ▶ どうぬ。‘とうち。

おなら ▶ ひ(一)

お^に鬼 ▶ うん

鬼ごっこ ▶ つあいつあい

お願いします ▶ たんでい。たんでいどうーでいん。

おばあさん ▶ あぶ

おばさん <お^ふ母^ぼの姉妹^{しまい}> ▶ あぶたてい

おはし ▶ はち

おへそ ▶ ふす

お^ぼ覚える ▶ うぶいるん

おまえ ▶ んだ

おまえたち ▶ んでい。んでいんた。

お^め召^あし上がりください ▶ うやしわり

お^も重 ▶ いんさん

お^も思^だい出す ▶ うむいんだん

お^も思 ▶ うむん

おもしろい ▶ うむつつあん

お^や親 ▶ うや

お^ゆ湯 ▶ どう(一)

およ
泳ぐ▶うぐん

お
降りる▶うりるん

降りろ▶うるん

お
終える▶ちまん

おんな
女▶みぬが

女の子▶みぬが아가미

か

か
蚊▶かだんく

が
蛾▶はびる

～が〈動作を行う主語を表す言葉〉▶が

貝がら▶あがやぬ くる

か
買う▶くん

かえ
帰って行く▶かいし ひるん

帰って来る▶かいし くん

帰る▶かいし くん。かいし ひるん。むどうるん。

カエル▶あたびた

かお
顔▶うむてい。ちら。

顔つき▶ちらかたち。ちらかまち。まりかたち。

かがみ
鏡▶かがん

かぎ ▶ かぎ

か かた
書き方 ▶ かていかた

書く ▶ かぐん

かくれおに鬼 〈かくれんぼと鬼ごっこをく組み合わせたあそ遊び〉 ▶ かぐりつあい

かけっこ ▶ あいたらし。あいていらし。かぎらし。

か かける ▶ かぎるん。かたぎるん。

かぜ
風 ▶ かでい

かぞ
数える ▶ どうむん

か ぞく
家族 ▶ だ(一)にんどう

かた
肩 ▶ かたぶるち

かた
固い ▶ かたん。くわ(一)ん。

かたち
形 ▶ かたち

カタツムリ ▶ なんだみ

か
勝つ ▶ かとうん

がっこう
学校 ▶ がっく

かなもじ文字 ▶ かなでい

かねも持ち ▶ うやぎ。うやぎんとう。

かぶ
被る ▶ かんどうん

かま 鎌 〈草を刈るためのぼうく道具〉 ▶ いらな。いらら。

かみ
紙 ▶ かび

髪 ▶ **かなん。からん。**

雷 ▶ **かなり**

がやがや ▶ **わっさ。わっさいわっさい。**

通 ▶ **かゆん**

～から 〈場所や時間を表す言葉につく〉 ▶ **がら**

殻 ▶ **から。くる。**

カラス ▶ **がらち**

体 ▶ **どう(一)。どうばだ。**

川 ▶ **かー。みとう。**

皮 ▶ **か(一)**

乾 ▶ **からぐん**

考える ▶ **かんが(い)るん**

肝臓 ▶ **ちむ**

頑張る ▶ **いでいんでいるん。ぎはるん。**

き

木 ▶ **き(一)**

黄色 ▶ **ふぐんいる。ふぐんどうみいる。**

聞く ▶ **くん**

北 ▶ **にち**

北風▶にちかでい

きたな

汚い▶でいなん

きのう

昨日▶んぬ

きみ

君▶んだ

きもち

気持ち▶うむい

きもの

着物▶んなに

きょう

今日▶す(一)

きょうだい

兄弟▶うとうだ。うとうだな。

きょねん

去年▶くどう

きよ

清らかだ▶すらさん

きら

嫌い▶しかぬん。しかん。でいなん。

き

切る▶つん

き

着る▶つん

気をつける▶みくきるん。きー ‘くん。

きん

金▶くがに

く

草▶つあ(一)

口▶‘てい。‘ていぶに。

くちびる▶んば

くに
国 ▶ ちま

くび
首 ▶ ぬび

くも
雲 ▶ んむ

くも
蜘蛛 ▶ くぶ

くら
暗い ▶ どわん。だん。

くら
暮らす ▶ くらしきるん

くら
比べる ▶ くらびるん。あているん。みだぎきるん。

く
来る ▶ くん

くるま
車 ▶ くるま

くれる ▶ とうらん

くろ
黒い ▶ ふるちちんたい ぶん。

黒い〜 ▶ ふるちちぬ〜

いろ
黒色 ▶ ふるいろ

くわ た はた たがや どう く な まえ
くわ 〈田畑を耕す道具の名前〉 ▶ ぱがい

け

け
毛 ▶ き(一)

け
消す ▶ (火を)さまん。(字を)きやん。

け
煙 ▶ きぶんち

け
蹴る ▶ きやぎるん

けんかする ▶ むんどう きるん

げんき
元気 ▶ がんどう

こ

子 ▶ あがみ。あがみてい。

こえ
声 ▶ くい

こくご
国語 ▶ こくご

ここ ▶ くま

こころ
心 ▶ くぐる

こころも
心持ち ▶ くぐるむてい。ちむ。

こし
腰 ▶ くに

こぜに
小銭 ▶ まるんか。くでいん。

こた
答える ▶ ひんとう きるん

ごちそう ▶ うさい。ま(一)るむぬ。ふりまい。

ごちそうさまでした ▶ まーどうあたる

こと
事 ▶ くとう

ことし
今年 ▶ くとうち

ことば
言葉 ▶ くとうば。むぬい。

子ども ▶ あがみ。あがみてい。

この ▶ くに

こめ
米 ▶ まい。んに。

これ ▶ く(一)

これから ▶ ないがら

これで ▶ くし

こわい ▶ にぐらん

こんど
今度 ▶ くんどう。あとう。

こな ▶ くにぬ。うんにぬ。

こんにちは ▶ すー うが むん 〈公^{おおやけ}の場^ばでのあいさつ^{あい}の場合^{ばい}〉。

んさいわるなく「お元^{げん}気^きですか？」の意^い味^みが転^{てん}じて〉。

さ

さが
探す ▶ み(っ)きるん

さかな
魚 ▶ いゆ

さ
咲く ▶ さぐん

さ
割く ▶ さぐん

さ
下げる ▶ さぎるん

さつまいも ▶ うんてい

さとう
砂糖 ▶ さた

さとうきび ▶ あまだ

さむ
寒い ▶ ひさん

さんしん
三線▶さんてい



じ
字▶でい

しお
塩▶ます

しか
叱る▶むたくん。いゆん。

じかん
時間▶でいかん

しごと
仕事▶しかま

じしん
地震▶ない

下▶‘たら

した
舌▶‘た(一)

したから▶きたば。きやる(ゆ)んがら。きび。

したので▶きたば。きやる(ゆ)んがら。きび。

しっかりと▶しか(っ)とう。しかーとう。はがら。

しっぽ▶どうんぱに

しても▶きたんていん。いたんていん。

じてんしゃ
自転車▶でいていんしゃ

じどうしゃ
自動車▶くるま

じぶん
自分▶どう(一)

しま
島▶ちま

姉妹^{しまい} ▶ みぬがうとうだな。ぶない〈男側^{おとこがわ}から呼^よぶ場合^{ばい}〉。

写真^{しゃしん} ▶ さしん

上手^{じょうず} ▶ どうでい

上手だ ▶ どうでいどう ある

上手だった ▶ どうでいどう あたん

上手だったので ▶ どうでいどう あたば。どうでい
どう あたる(ゆ)んがら

消息^{しょうそく} ▶ すー

食事^{しょくじ} ▶ い(一)

食事する ▶ い(一) ふん

知らせる ▶ たみるん

調べる^{しら} ▶ ちらびるん

知る^し ▶ つん。ばがるん。

印^{しるし} ▶ はん。ちるち。

白^{しろ} ▶ つー

白い ▶ つだり

す

巢^ナ ▶ ち(一)

姿^{すがた} ▶ しがた。まり。

^す
好かない ▶ しかぬん。しかん。

^す
好き ▶ ま(っ)ち

すぐ ▶ したた

^{すく}
少ない ▶ さがん

^{すこ}
少し ▶ あま(一)てい。あまってい。いび。いび(一)た
てい。

^す
捨てる ▶ ‘かっているん

^{すな}
砂 ▶ ちなん

すね ▶ ちに

する ▶ きるん。いるん。

するから ▶ きる(ゆ)んがら。いる(ゆ)んがら。

するので ▶ きる(ゆ)んがら。いる(ゆ)んがら。

^{すわ}
座る ▶ んとうるん

せ

^{せいかく}
性格 ▶ たが

^{せけん}
世間 ▶ しきん

せっけん ▶ さぶん

^{せなか}
背中 ▶ くちぶに

^{せま}
狭い ▶ いばさん。しばさん。

せんせい
先生 ▶ しんし(一)

そ

そう ▶ いし

そういうわけで ▶ うんにび

そうだね ▶ いいえー

そうなので ▶ うんにび

そこ ▶ うま

そして ▶ いしてい。うんから。うんにてい。

そっと ▶ とーん むぬなんき

そで
袖 ▶ すでい

そと
外 ▶ ふが

その ▶ うぬ

そば ^た〈食べ物〉 ^{もの} ▶ すば

そば
側 ▶ すば。かたばら。

そら
空 ▶ ていん

それ ▶ う(一)

それから ▶ うんから

それぞれ ▶ なーなー

それで ▶ いてい。うんにてい。

それでも▶うんにていん

そんな▶うんにぬ

た

田▶た(一)

たいかく
体格▶すだい。ぐったい。

たいよう
太陽▶ていだん

たか
高い▶たがん

たくさん▶まーしく。たいしく。しっぱい。

たけ
竹▶たぎ

たし
確かめる▶たしかみるん。ちらびるん。

だ
出す▶とうんだん。んだん。

ただ
正しい▶まんか。まっとう。あたいぶん。

正しく▶まんかに。まっとうに。

た
立つ▶たとうん

たて
縦▶たてい。なぎ。

た
立てる▶たているん

たね
種▶たに

たの
楽しい▶うむつつあん

たの
楽しむ▶うむつつあきるん

食べ物 ▶ はいむぬ。はまい。

食べる ▶ ふん

玉 ▶ たま

ため ▶ たみ

～だよ 〈文の終わりにつく言葉。聞き手の目的にとって意味のある内容

であると伝える言葉〉 ▶ ど

便り ▶ すー

誰 ▶ た(一)

ち

血 ▶ ち(一)

小さい ▶ ぐまん。ぐまたてい。

近い ▶ ‘た(一)ん

違う ▶ あらぬん。かばるん。

力 ▶ しから

茶 ▶ さ(一)

チョウ ▶ はびる

頂上 ▶ ちんぷる。ちでい。

帳面 ▶ す(一)。ちょーめん。

ちょっと 〈時間的に〉 ▶ あま(一)てい。あまってい。

ちょっと ^{りょうてき}〈量的に〉 ▶ いび

ちょっとの間 ^{あいだ} ▶ あま(一)てい。あまってい。



^{つか} 使う ^{かた} ▶ ‘かいかた/‘かいがた

使う ▶ ‘くん

つかまえる ▶ かけみるん

つかむ ▶ かけみるん

月 ▶ ‘くゆ。‘てい(一)。

^{つき} 次 ▶ ちんだい。あとう。

^つ 付く ▶ びっかるん

^{つく} 作る ▶ ‘くるん

付ける ▶ びっきるん

^{つち} 土 ▶ んだ

^{つの} 角 ▶ んぬん

つば ▶ つばいんてい。つばんてい。

^{つま} 妻 ▶ とうん

^つ 積む ▶ ちむん

^{つめ} 爪 ▶ んみ

^{つめ} 冷たい ▶ ひ(っ)ちんたい。ひらぎんたい。

強い ▶ ^{つよ}すさん

釣り竿 ▶ ^{つ ざお}んぶぐ



手 ▶ ^ててい

〜で 〈^{ざいりょう}材料などを表す^{あらわ}言葉につく〉 ▶ し

〜で 〈^{ばしょ}場所などを表す言葉につく〉 ▶ に

手足 ▶ ^{てい}はん

ていねいに ▶ はがら。しか(っ)とう。しかーとう。

出かける ▶ ^とうんでいるん

手紙 ▶ ^{てがみ}ていがみ。たゆり。

できる ▶ ^なるん。いしつん。

〜です 〈^{なに}何かを^{しょうかい}紹介するときの^{しい}言い^お終わりの^{かたち}形〉 ▶ ^{ない}ふる

出る ▶ ^んでいるん

天 ▶ ^{てん}ていん

点 ▶ ^{てん}てん

天気 ▶ ^{てんき}わしき

天秤棒 ▶ ^{てんびんぼう}すー

と

～と 〈人^{ひと}や物^{もの}を二つ以上並^{ひた}べる時^{いじょうなら}に使う^{とき}言葉^{つか}〉 ▶ どう

トイレ ▶ ふるや

どうして ▶ ぬんでい

どうしても ▶ ぬんにていん

どうするか ▶ ぬ(一) きるんが。ぬんに いるんが。

どうであっても ▶ ぬんに あたんていん。ぬんに あ
るばん。

どうにかしてでも ▶ ぬんに いしていん

動物^{どうぶつ} ▶ いちむち。いていむち。

どうやって ▶ ぬんにてい。ぬぐしてい。

遠^{とお}い ▶ とわ(一)ん

遠い～ ▶ みやーる～

どかす ▶ とうんならん

時 ▶ ていぶん。とうてい。

とげ ▶ んぎ

時計 ▶ とうき

どこ ▶ んま

所^{ところ} ▶ どうぐる

とし
年 ▶ とうち

としうえ
年上 ▶ すだ

としした
年下 ▶ うとうとう

とても ▶ あら(一)ぐ。まーてい。にぐらるた。

となり
隣 ▶ とうない

どのように ▶ ぬんに。ぬぐし。

と
飛ぶ ▶ とうぶん

と
止まる ▶ とうまるん

とも
友だち ▶ どうち

とり
鳥 ▶ はとう

と
取る ▶ とうるん

どれ ▶ んでい。ぬ(一)。

どんな ▶ ぬんにぬ

トンボ ▶ あぎだん

な

名 ▶ な(一)

～なあ ぶん お 〈文の終わりにつく言葉。感情を表に出す時に使う〉 ▶ すや

ない ▶ みぬん

中 ▶ なが

なが
長い ▶ なーさん。な(一)ん。

なかま
仲間 ▶ しんか。あく°。

なが
流れる ▶ ながりるん。なーりるん。

な
鳴く 〈動物が〉 ▶ なぐん

な
泣く 〈人が〉 ▶ なぐん

な
亡くなった 〈人が〉 ▶ まいすん。みー つあい わん。

亡くなる 〈人が〉 ▶ まいるん。みー つあい わるん。

なす
茄子 ▶ なん

なぜ ▶ ぬんでい

なつ
夏 ▶ なち

なに
何 ▶ ぬ(一)

なべ
鍋 ▶ なび

なまえ
名前 ▶ な(一)

なみだ
涙 ▶ ぬだ

なる 〈ある状態に〉 ▶ なるん

に

〜に 〈時間を表す言葉につく〉 ▶ に

〜に 〈場所を表す言葉につく〉 ▶ んき。に。

〜に 〈動作の目的を表す言葉〉 ▶ んでい

～に〈受身文の動作の主体を表す言葉〉▶んき。に。

ニガウリ▶ぐや

ニガウリいため▶ぐやまんぱに。ぐやちゃんぷる。

にし
西▶いり

にし
虹▶あみぬまゆ。あみぬみや。

に まい が い
二枚貝▶あがや

に
似る▶んにるん

に
煮る▶にるん

ニワトリ▶み(っ)た

ぬ

ぬ
脱ぐ▶はんでいるん

ぬぐ
拭う▶すするん

ぬ
抜ける▶ぬぎるん。‘きるん。

ぬま
沼▶みとう

ね

ね
根▶に。

～ね〈文の終わりにつく言葉〉▶いえ(一)〈同意を伝えたり、求めたりする言葉〉。がえ(一)〈感情を出しながら、同意を伝えた

り、求めたりする言葉〉。

ネコ ▶ まゆ

ネズミ ▶ うやんとぅ

根っこ ▶ にむとぅ。にばり。

寝る ▶ にんどぅん

の

～の 〈人^{ひと}や物^{もの}を表す名詞にくっついて、特徴^{とくちょう}の持ち主^もを表したり、対比^{たいひ}を表す〉 ▶ ぬ

除く ▶ とぅいかっているん

のど ▶ ぬどぅ

伸ばす ▶ ぬばん

野原 ▶ ぬ(一)

登る ▶ ぬるん

飲む ▶ ぬむん

乗る ▶ ぬるん

は

～は 〈人^{ひと}や物^{もの}を表す名詞にくっついて、特徴^{とくちょう}の持ち主^もを表したり、対比^{たいひ}を表す〉 ▶ や

は
歯 ▶ は(一)

は
葉 ▶ は(一)

はい
灰 ▶ ひぐん

はい ^{めうえ}〈目上へ^{へんじ}の返事〉 ▶ おー

はい
入る ▶ はゆん。はいるん。

は
生える ▶ むいるん

は
掃く ▶ ふぐん

はさみ ▶ はさん

はじ
始まる ▶ はでいまるん

始め ▶ はでいまい

はじ
初めて ▶ はでいみてい

始める ▶ はでいみるん

はし
走る ▶ あいぐん。あいたらしきるん。

はたけ
畑 ▶ はたぎ。はる。

ハチ ▶ はた

はっきり ▶ しか(っ)とう。しかーとう。はがら。

はと
鳩 ▶ はとう

花 ▶ はな

はな
鼻 ▶ はな。はなぶる。

はなし
話 ▶ はなし

はな^あ話し合う▶ぎんみかんみきるん。すだん きるん。

むぬはなし きるん。

話す▶むぬん。はなし きるん。

ハブ▶はぶとうがら

早い▶はやん

林▶むりく。むりくい。

はり^は針▶はい

はる^は春▶うるむ

ひ

火▶ち(一)

日▶ち(一)

ピーナッツ▶でいまみ

ひがし^ひ東▶あがい

ひ^ぬ引き抜く▶‘ていぬぐん

ひきまく^ひ引幕▶かた。かたがつか。

ひ^ひ引く▶ひくん

ひく^ひ低い▶‘くわ(一)ん

左▶んだい

びっくりする▶うどうるぐん

引っぱる ▶ すんくん。‘ていっきるん。

ひと
人 ▶ ‘とう(一)

ひとつ ▶ ‘とうち

ひとりひとり ▶ ‘とういな(一)とういな

ひら
開く ▶ あぎるん。はたぎるん。びらぎるん。

ひる
昼 ▶ つま

昼ごはん ▶ つまどうぎ

ひろ
広い ▶ ひるさん

ひろ
拾う ▶ とうるん

広がる ▶ ひるがるん。すんがるん。

広げる ▶ びらぎるん

びんぼう
貧乏 ▶ ひんす。きばなさ。

ふ

ふうせん ▶ ふーせん。ぷっか。ぷーか。

ふか
深い ▶ ‘か(一)ん

ふく
服 ▶ つー むぬ。んなに。

ふ
拭く ▶ すするん

ふくろ
袋 ▶ ‘くる

ふしぎ
不思議 ▶ ちるまん

ふた ▶ ふた(一)

ブタ ▶ わ(一)

ふね
船 ▶ んに

ふゆ
冬 ▶ ふゆ

ふ
降る ▶ ふるん

ふる
古い ▶ ふるみ。ふる。

ふるさと ▶ ちま。まりでいま。

へ

～へ ばしょ あらわ ことば
〈場所を表す言葉につく〉 ▶ んき

へビ ▶ とうがら

へラ 道具の名前 ▶ ひら

ほ

ほうがく
方角 ▶ たんか

ほうき ▶ ふてい

ほうこう
方向 〈～の方向〉 ▶ は

ぼうし ▶ かんていむぬ

ほうちよう
包丁 ▶ ふった

ほお ▶ かまてい。ちらかまてい。

ほ か
他 ▶ ふが

ぼく ▶ あぬ

ほ し
星 ▶ ふち

ほ ね
骨 ▶ ふに

ほ
掘る ▶ ふるん

本 ▶ すぐてい。すむてい。

ほん とう
本当 ▶ まーむに。ぎんとう。

本当に ▶ まーむに。ぎんとうに。どうんに。

ま

まい に ち
毎日 ▶ ちぬかーでい。ちーどう。

まえ
前 ▶ まい

まき が い
巻貝 ▶ んぶ。んだ。

ま
巻く ▶ まぐん

ま
負ける ▶ まぎるん

まご
孫 ▶ まく

ま ず
不味い ▶ みさん

また ▶ また

まだ ▶ ま(一)でい

町 ▶ むら

待つ^ま ▶ まとうん

まっすぐ ▶ まーまんか。まんか。

〜まで^{じ かん りょう あらわ めい し}〈時間や量を表す名詞にくっついて、終わりを表す〉▶ くれた。
ばぎん。

まとめる ▶ まとうみるん

守る^{まも} ▶ まぶるん

眉^{まゆ} ▶ みぬまゆ

丸^{まる} ▶ まる

丸い ▶ まるんか

周り^{まわ} ▶ すばっつあ。‘とうまる。

真ん中^{ま な か} ▶ んなが。まんなが。

み

実^み ▶ ない

見える ▶ んなりるん

みかん ▶ んにん

右 ▶ にでい

短い^{みじか} ▶ まらん

水 ▶ みん

湖^{みずうみ} ▶ みとう

み そ
味噌▶んす

みち
道▶あみてい

見つける▶み(っ)きるん

みどりいろ
緑色▶だまいる

みなみ
南▶はい

耳▶みんなたふ

見る▶んぬん

みんな▶ぶーる。むーる。

む

むかし
昔▶んかち

むかしばなし
昔話▶んかちむぬがた。んかちはなし。

むこ
婿▶むぐ

むし
虫▶だぐ。むち。

むづか
難しい▶むちかさん

むね
胸▶ちむぐてい。んに。

村▶むら

め

目▶みー

めい
姪 ▶ ぶいは

めし
飯 ▶ い(一)

めす
雌 ▶ みーむぬ

めずら
珍しい ▶ みでいらさん。ちるまん。

も

〜も ▶ ん。ばぎん。

もう ▶ ま(一)

も
持つ ▶ むとうん

もっと ▶ ま(一)びん。ま(一)みん。

もの
物 ▶ むぬ

もの
者 ▶ むぬ

もの ほ ざお
物干し竿 ▶ なんだぐち

もも 〈体のいちぶ〉 ▶ むむ

モモ 〈くだもの〉 ▶ とうむんぶ

もらう ▶ とうるん

森 ▶ むりく。むりくい。

もん
門 ▶ どうぐてい

や

ヤギ▶ひびだ

やす
休む▶だちむん。どうぐるん。

やっと▶だっとう

やっとで▶だーとうし

山▶だま

ヤモリ▶ちまみ

山モモ▶むんぬく

やわらかい▶だらーたてい

ゆ

ゆう き
勇気▶いでい

ゆう はん
夕ご飯▶どうい。どうさびぬ いー。

ゆき
雪▶ゆき

ゆっくり▶どうり(ー)どうり(ー)。だらな。だらてい
な。

ゆび
指▶うゆび

ゆめ
夢▶いみ

よ

～よ〈文の終わりにつく言葉〉▶ど(一)。ゆ。

様子▶きだてい

よく▶かーばい

横▶どうぐ

夜中▶どうなが

呼ぶ▶あびるん

読み合わせ▶どうみあん。どうみあし きるん。

読み方▶どうみかた。どうみがた。

読む▶どうむん

嫁▶どうみ

夜▶どうる

よろしい▶んさん

弱い▶どわ(一)ん

ら

来年▶でいん

わ

わいわい ▶ いくつつあかつつあ。いくつつあひやつつあ。

わ
分かる ▶ ばがるん

わか
別れる ▶ ばがりるん

わけ ▶ ばぎ

分ける ▶ ばぎるん

わす
忘れる ▶ ば(っ)ちるん

わたし ▶ あぬ

わたしたち ▶ ばんた。ばぬ。

わたしの ▶ あが

わら
笑う ▶ ばるん

わる
悪い ▶ ばらさん

悪い〜 ことば まえ 〈言葉の前について、い み つ くわ 意味を付け加える言葉〉 ▶ だな〜

数

数字・数詞

1 ▶ ‘とう(一)ち

2 ▶ ‘た(一)ち

3 ▶ み(一)ち

4▶どう(一)ち

5▶いちち

6▶むーち。むっち。

7▶ななち

8▶だ(一)ち

9▶くぐぬち

10▶とう(一)

20▶にんどう

ひやく

百▶ひゃ(一)ぐ

せん

千▶しん

まん

万▶まん

いっぴき

一匹▶‘とうがら

にひき

二匹▶‘たがら

さんびき

三匹▶みがら

よんひき

四匹▶どうがら

ごひき

五匹▶いちがら

ひとり

一人▶‘とうい

ふたり

二人▶‘たいんとう

さんにん

三人 ▶ みたいんとう。んたいんとう。

よにん

四人 ▶ どうたいんとう

ごにん

五人 ▶ ぐにん。いちたいんとう。

いちど

一度 ▶ ‘とうむるち

にど

二度 ▶ ‘たむるち

さんど

三度 ▶ みむるち

よんど

四度 ▶ どうむるち

ごど

五度 ▶ いちむるち

ついたち

一日 ▶ てい(一)たてい

ふつか

二日 ▶ ふっか

みっか

三日 ▶ みっか

よっか

四日 ▶ どうか

いっか

五日 ▶ いっか。ぐにてい。

むいか

六日 ▶ むいか。むっか。

なのか

七日 ▶ なんか

ようか

八日 ▶ はていにてい

このか

九日 ▶ くぐぬが

とおか

十日 ▶ とうが

は っ か
二十日 ▶ はっか

さんじゅうにち
三十日 ▶ さんどうにてい

いちがつ
一月 ▶ いていんがち

に がつ
二月 ▶ にんがち

さんがつ
三月 ▶ さんがち

し がつ
四月 ▶ ちんがち

ご がつ
五月 ▶ ぐんがち

ろく がつ
六月 ▶ どうくんがち

しちがつ
七月 ▶ していんがち

はちがつ
八月 ▶ はていんがち

く がつ
九月 ▶ くんがち

じゅうがつ
十月 ▶ とうがち

じゅういちがつ
十一月 ▶ どういていんがち

じゅうに がつ
十二月 ▶ どうにんがち

メ モ

どうなんむぬい たんごちよう 初級

発行日：2021（令和3）年11月1日

編集：沖縄県しまくとぅば普及センター

与那国方言辞典編集小委員会

田頭 政英

新里 恵美子

上地 艶子

譜久嶺 マリサ

眞地 保考

目差 尚太（沖縄国際大学/日本学術振興会特別研究員PD）

監修：波照間 永吉（沖縄県しまくとぅば普及センター長）

発行：沖縄県文化観光スポーツ部 文化振興課

印刷：有限会社 ドリーム印刷

非売品